

科学技術イノベーション総合戦略2016における 重きを置くべき施策について

(別紙) 第1章(2)(3)及び第2章に係る施策の詳細

1. 概要図

第1章 (2) 新たな経済社会としての「Society 5.0」を実現するプラットフォーム (3) 「Society 5.0」における基盤技術の強化 1) サイバー空間関連技術

「Society 5.0」を実現するプラットフォーム

- 総合戦略2015で定めた11システムのうち「高度道路交通システム」「エネルギーバリューチェーンの最適化」「新たなものづくりシステム」をコアシステムとして開発し、他システムと連携協調を図り、新たな価値を創出
- 新たな価値・サービス創出の基となるデータベースを整備
- 基盤技術（AI※、ネットワーク技術、サイバーセキュリティ等）の強化

プラットフォーム概要

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより新たな価値を創造して、経済的発展と社会課題の解決を両立

<データベース(DB)構築>

- 3次元地図情報DBの方式・フォーマット、通信方式等およびリファレンスモデルの検討【①・内科03・①・文04・文06・環・文02】
- 論理的に一つのDBとして利用できるDBの整備【①・内科03、①・国02】

<知的財産戦略と国際標準化>

- 標準仕様の策定ならびにインターフェースの整備【①・内科03、①・文04】

<規制・制度改革>

- 客観的証拠をもとづく政策立案の推進【①・文01】

<基盤技術の強化>

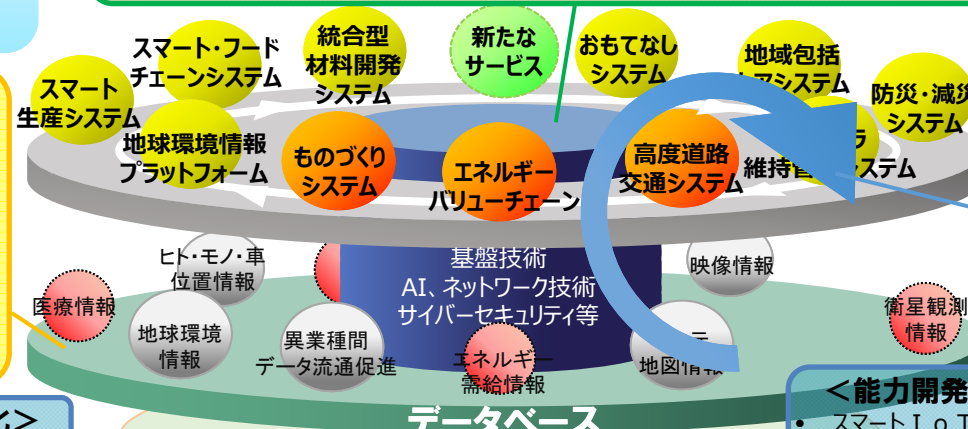
- AI：次世代AI、脳型認知モデル、高効率機械学習等の基礎・要素技術を確立し、ロボット等の実用化研究に水平展開するとともに、農業、医療、インフラ等に社会実装【①・総01、①・総05、①・文04、①・経01、①・経02】
- セキュリティ：重要インフラ等のセキュリティ確保、暗号処理、攻撃検知等の研究開発【①・内科03、①・総04、①・文04、①・経01】
- ネットワーク技術：エッジ処理、IoTデータ分析・判断関連技術等の研究開発【①・総01、①・総02、①・経01】

<データ利活用の促進>

- IoTによるデータ収集・利活用を支えるAI技術推進【生・内科01、①・総01、①・総05、①・文04、①・厚01、①・経01、①・経02、①・国03、イ・国01】
- G空間登録件数、アクセス数増加【①・国01】
- 通信方式、データフォーマット検討【①・内科03】

<能力開発・人材育成>

- スマートIoT推進フォーラム、AIPセンター等産学官連携による人材育成の推進【①・文04、①・経01】
- データ関連人材の育成【①・文07】
- サイバーセキュリティの演習、資格取得、研究を通じた人材育成【①・内科03、①・総01、①・文04、①・経01】
- 数学者と諸科学の研究者との連携推進【①・文03】



※ AIは、IoT、ビッグデータ解析技術を含む